

先人の気風を今に受け継ぐ ここは「しぶたみ」

第2期 渋民地域づくり計画書

渋民振興会
令和3年4月

「しぶたみ」の更なる未来を拓こう

渋民振興会
会長 菊池 紘一

『先人の気風を今に受け継ぐ ここは「しぶたみ」』で始まった地域づくり計画策定は平成27年度地域の様々な検討課題を抽出し、その解決策を見出しながら話を進めて来ました。そして翌年度からその解決策を基に「産業・振興部」「教育・文化部」「福祉・安全部」の各部それぞれが具体的に「どうしたらそれが解決できるのか」に向かってスタート致しました。それまで八幡神社例大祭や地区民運動会くらいしか地区民が一堂に集る事がなかったことが、これまで検討したことを地域行事のなかで取り入れながら、「芦東山先生かるた大会」や「川あそび」また「地域ブランド品開発」「大先輩による渋民の昔話」や「渋民秋まつり開催」等々、老若男女問わず多くの地域住民が参加された有意義な5年間で、渋民の姿も大きく変わってきたと感じております。

この間渋民公民館も「渋民市民センター」と改称され旧渋民小学校校舎に移転、同時に2階には「一関民俗資料館」もオープン致しました。

今この5年を振り返ってみますとこれらの事業を展開するに当たっては子ども会や各種団体の皆さん方は勿論、親子であるいは祖父母と孫といったいわゆる家族ぐるみで参加する姿がとて微笑ましく感じられました。

この4月から「第2期渋民地域づくり計画」を展開するにあたっては、各部毎に事業計画を策定しましたが、前期同様地域の皆様方と共に計画を進めて参ります。

国道343号線の開通に伴って、この渋民を大いなる未来に向かって拓いていくには私たち自身であり、皆さんと共に考え、共に行動しながら活性化させていく為に、皆さんと絆を育み地域を創りあげることが大事ではないかと感じておりますので、今後ともご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

はじめに

(1) 計画策定の趣旨

5年前、渋民地域がどのような地域であるべきかを考え、地域の課題に取り組むべき指針として地域づくり計画を策定しましたが、この5年で渋民市民センターの移転、各部の事業実施等、渋民地域を取り巻く現状も変化してきました。

変化する地域の現状に見合った解決策で地域づくりを行うために、地域づくり計画の見直しを行いました。新型コロナウイルス感染拡大防止の為、初年度開催した全体部会議ワークショップではなく、各部ごとに話し合い、今後5年間で重点的に取り組んでいく軸となる3つの事業を選びました。

(2) 計画の期間

この計画は概ね5年間の計画とします。また、諸情勢の変化に伴い、機会を捉えて随時見直しを行います。

(3) 目指すべき将来像

①渋民地域の目指すべき将来像は次のとおりとします。

先人の気風を今受け継ぐ ここは「しぶたみ」

②地域を支える三本柱

渋民地域の将来像（理想、未来、展望）を実現するため、地域を三本柱を設定しました。

③三本柱の目標

産業・振興部 -渋民ブランドで活かす笑顔の里「しぶたみ」

教育・文化部 -世代をこえて教え伝え学び合う里「しぶたみ」

福祉・安全部 -みんなで支え合う潤いの里「しぶたみ」

世代を超えて教え伝え学び合う里「しぶたみ」

産業・振興部

2016年～2020年の活動

- 【活動内容】①桜並木再生計画事業（岩明～横屋橋までの天狗染病対策）
②ベリーグッド渋民事業
・移動研修
・料理教室
・農地管理

計画の見直し概要

【現状・課題】

◆担い手・後継者不足による農業の現実について、所有地の管理は多面的機能で仕組み作りがなされていることから、部内で検討し（イ）の一部「ゆえに、他に公共地まで環境管理の手が届いていない。」を削除しました

【解決策】

①◆公的支援と地域間支援の使い分けについて、多面的において現在行われている事業であることから削除し、「●高齢化に伴い現在機能している農地管理の仕組みが機能しなくなる可能性も視野に入れ、新しい仕組みを構築する」を追加しました。

②解決策について具体案を追加・修正しました。

③部内で誘致の必要性について検討し、「●大東工業団地への誘致活動拡大を図る」を削除しました。

④浄化槽の普及、全世帯水道は個人の事柄であることから、「◆その他の対応」の「●清流化を図るために浄化槽の普及に取り組む」「●全世帯水道にするための検討」を削除しました。

⑤渋民市民センターの利活用がなされたことから、「ヘソを中心に行政の集約化（遊休施設の活用）」を削除しました。

⑥「◆その他の対応」に「地域の若い人同士で集まる機会を設け、部内に若い人の意見を取り入れる仕組みを作る。（例）渋民青年会の発足」を追加しました。

今後の5年間で取り組む事

①みんなで作ろう公園事業

【地域の課題】商店街や観光地がなく活気がない/遊休農地の活用

【解決策】市民農園（※1）やビオトープ（※2）など渋民の自然を生かした公園をみんなで作ることで一体感が生まれ地域の活性化につながる。
※1 非農家の市民が、小規模な農地で非営利的に野菜や果物を栽培する活動

※2 自然の生態系を身近に感じられる空間

②ベリーグッド渋民事業

【課題】渋民地域独自の特産品がない

【解決策】渋民ブランドの開発検討（中学生からのアイデア）⇒ブルーベリー観光農園等栽培中のブルーベリーの活用方法について検討していく

③（仮）渋民青年会支援

地域の若い人同士で集まる環境づくりを行う。（仮）渋民青年会が発足した際は必要な支援を行っていく。

みんなで支え合う潤いの里「しぶたみ」

福祉・安全部

2016年～2020年の活動

- 【活動内容】①昭和の心の交流事業（3回開催）
・地域住民に講師をお願いする講話。
・映画上映（令和元年は自治会単位で出前上映を開催）
②渋民地区社会福祉活動推進協議会との連携事業（3回開催）

計画の見直し概要

【現状・課題】

【削除①】バス停が遠いという現状について、部内で検討し現状で問題は無いことから削除しました。

【削除②】高齢者や障がい者の福祉施設の現状について、部内で検討し、福祉・安全部での活動に限界があるため削除しました。

【削除③】地域防災の充実について、部内で検討し、福祉・安全部での活動には当たらないためと考えられるものを削除しました。

【追加①】生活に潤いを持ち、様々な課題を見出し、自己解決に資することができる知識の習得機会が区内では少ない。

（ア）要望に則した講師の確保。を追加しました。

【解決策】

【削除①】福祉・安全部内で出来る解決策のみを残し削除しました。

【追加①】「現状・課題③」に下記の解決策を追加しました。

◆福祉や安全に係わる知識の習得（追加）

●講演会の実施

講演を通し様々な知識を得ることにより、それを実生活に生かすことができる。

今後の5か年計画について

①昭和の心の交流事業

【地域の現状】高齢者を取りまく現状

【課題】高齢者世帯が増え、一人暮らしが増えている。/一人暮らしは会話が少なく寂しい。

【解決策】孤立感を和らげる事業の工夫。（映画上映、地区に方々からの講話、出前上映）

②渋民地区社会福祉活動推進協議会との連携事業

【地域の現状】高齢者を取りまく現状

【課題】高齢者世帯が増え、一人暮らしが増えている。/一人暮らしは会話が少なく寂しい。

【解決策】魅力ある講演会等に、より多くの人々が参加し、交流と感動を共有してもらうこと

③講演会事業

【地域の現状】生活に潤いを持ち、様々な課題を見出し、自己解決に資することができる知識の習得機会が区内に少ない。

【課題】福祉や安全に係わる知識の習得

【解決策】講演会を通し様々な知識を得ることにより、それを実生活に生かすことができる。

世代を超えて教え伝え学び合う里「しぶたみ」

教育・文化部

2016年～2020年の活動

- 【活動内容】①地域ふれあいday「芦東山先生かるた大会」4回開催
②地域ふれあいday「砂鉄川であそぼう！」3回開催
③移動研修「芦東山ゆかりの地を訪ねる」3回開催
④移動研修「渋民をとことん知ろう！」1回開催
⑤渋民クエスト（コロナにより事業中止の代案）

計画の見直し概要

【現状・課題】

現状においては追加・変更はありません。

【解決策】

【削除①】学童クラブは大東小学校敷地内で運営されていることから削除しました。

【変更①】月に一度土日開催の親子ふれあいdayは削除し「地域ふれあい」dayに変更しました。

【その他】

教育・文化部であげられている課題については、地域ふれあいdayに伝統顕彰等を組み込み解決に当たることとします。

今後の5か年計画について

①地域ふれあいday（夏）

【地域の現状】子どもと地域の関り不足

【課題】小学校統合により、地域の人々が子ども達の学習活動に接する機会が減った、子どもがいない世帯は学校とのつながりが薄れてきた。

【解決策】魚つかみ等渋民の自然を使って地域ふれあいdayを開催する。

②移動研修

【地域の現状】自然や歴史文化遺産の活用不足

【課題】地元文化遺産等理解・勉強不足のため伝承衰退/文化祭への積極的参加が少ない

【解決策】郷土の歴史を学ぶ機会を企画実施する。

③地域ふれあいday「芦東山先生かるた大会」

【地域の現状】子どもと地域の関りの不足/伝承活動の衰退

【課題】①小学校統合により、地域の人々が子ども達の学習活動に接する機会が減った、子どもがいない世帯は学校とのつながりが薄れてきた。

②高齢者と子ども達の交流の不足

③各家庭の古来からの伝承行事衰退

【解決策】渋民を偉人である芦東山先生のかかるた大会と一緒にまゆっこならし等伝承活動も行う。